

新 年 の ご あ い さ つ



豊中市議会議員
宮地 和夫



豊中市長
長内 繁樹

明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年1月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降、その脅威は全国に広がり、まさに未曾有の国難ともいえるべき状況となりました。その影響は大きく、私たちの日常生活や価値観にさまざまな変化をもたらしました。

本市では、この危機を改革のチャンスと捉え、市立小・中学校へのタブレット端末配布の決定や、行政手続きのオンライン化の拡充、キャッシュレス決済の推進など、急速な社会の変化に柔軟に対応した取り組みを進めてまいりました。

また、これまで築いてこられたつながりを途絶えさせないよう知恵を絞り、熱意を失わず活動が続けられる市民の方々を数多く拝見しました。未だ厳しい状況の中ですが、この苦難を力に変え、皆様と一緒に乗り越えたいと思います。

本年は、豊中市制施行から85周年を迎えます。私の基本理念である「未来につながる改革」と地域が活きるまちづくりの実践を通して、この豊中市が、新たな社会を創造する都市として、更なる発展を遂げられるよう全力で取り組んでまいります。皆様には、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますようお祈りいたします。

明けましておめでとうございます。

皆様方には、心も新たに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大により、不要不急の外出自粛、学校の長期休業、産業活動の抑制などで私たちの暮らしは大きな影響を受けました。また、感染者・医療関係者への不当な差別や、生活不安を抱える方の増加など、憂慮すべき事態も生じております。

そうした中、本市では、新型コロナウイルス感染症に関する支援策として、市民・事業者への給付金や貸付事業などが着実に実施されてきました。また、「GIGAスクール構想」に基づく児童・生徒へのタブレット端末配備など、デジタル技術を活用した学びの構築に向けた取り組みも推進されているところですが、市議会といたしましても、「アフターコロナ」を展望し、まちの活力の一刻も早い回復に向け、引き続き努力してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

